

●第2回（11月）：テーマ「連携の課題と未来」

3つの特別養護老人ホームから、それぞれの施設の状況などについて説明をしていただきました。その後、日々の支援で感じる“良いこと”と“困っていること”を共有し、地域で支えあう仕組みのヒントを見つけようと題し、活発な意見交換がなされました。



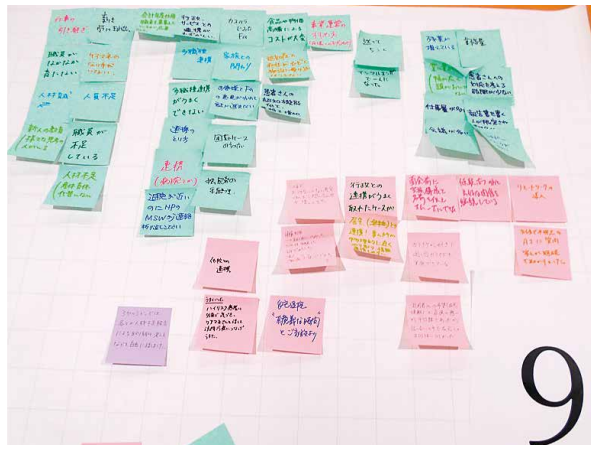
参加者の声：

第1回 49名 回答：94% 肯定的評価

「他職種の苦勞を知り、自分にできることが見えた」
 ・ ・ ・ ・ ・ 保健師・看護師（第1回）

第2回 55名 回答：96% 新たな発見があった

「顔を知ること、電話一本の相談がしやすくなった。これこそが地域の安心感につながる」
 ・ ・ ・ ・ ・ 保健師・看護師（第2回）



第2回ワールドカフェの様子

会長 角田 浩
 事務局 赤間 弘治

公立黒川病院 インスタ（Instagram）
 開設しております！



患者様や地域の皆様に当院を知っていただくためにインスタを開設しております。
 広報誌などでは紹介できない内容も投稿しております。



外来診療担当表

令和8年6月現在
 〈受付時間〉午前8:00～11:30 午後1:30～4:00
 ※診療科によって一部異なります

診療科	月	火	水	木	金	土	
内科 総合診療科 (院内標榜) ◆土曜日受付 8:30～11:30	午前	金澤(第2-4)増本(第3-5)中村(第2-4)角田松尾荒木齋藤	横道南家植田岡増本	吉村齋藤(第2-4)角田増本(第1-3)高橋	金澤福住角田河野高橋	応援医師南家横道東北大医師	交代制
	午後	齋藤村中高橋(第1-3-5)中村(第2-4)	高橋植田吉村	高橋福住松尾	横道(原則予約制)東北大医師	応援医師【15:00まで】荒木(第1-2)南家(第3-4)【15:00以降】松尾	-
小児科 ◆発達相談予約制	午前	-	-	岩城毛塚(第1-3)	岩城	-	-
	午後	-	-	岩城	岩城	-	-
外科	午前	芳賀東北大医師	松本東北大医師	芳賀東北大医師	松本応援医師	芳賀応援医師	-
	午後	非常勤医師	-	非常勤医師	-	非常勤医師	-
整形外科 ◆初診受付 8:00～10:30(紹介状必要) ◆再来受付 8:00～11:00(予約制)	午前	田中	東北大医師	東北大医師	田中	田中	-
	午後	-	-	-	-	-	-
婦人科	午前	-	細田	細田	細田	細田	-
	午後	-	-	-	-	-	-
耳鼻いんこう科	午前	-	-	-	-	-	-
	午後	応援医師	-	-	東北大医師	-	-
眼科 ◆受付時間 8:00～11:00	午前	東北大医師	-	東北大医師	-	-	-
	午後	-	-	-	-	-	-
皮膚科	午前	-	応援医師	-	-	応援医師	-
	午後	-	-	-	-	-	-
泌尿器科 第1・3・5金曜日休診	午前	田口	田口	田口	田口	田口(第2-4)	-
	午後	田口	-	田口	-	田口(第2-4)	-

※入院患者さんの急変や、医師の出張等により変更になる場合もありますので、院内掲示版やホームページ等でご確認ください。
 ※土曜午後・日・祝祭日は、全科休診です。急患はこの限りではありませんので、お電話にてお問合せください。

公益社団法人 地域医療振興協会
公立黒川病院
 〒981-3682 宮城県黒川郡大和町吉岡西松木60
 TEL:022-345-3101 FAX:022-345-3143



緑風

Vol.33
 Jun 2026

地域と共に Living with the community
 地域と生きる living in the community
 地域を守る protecting the community

公立黒川病院だより
 発行：公立黒川病院
 地域連携センター 地域連携室



巻頭言：酒造りの微生物をお手本に
 医療連携を考える

公立黒川病院 管理者 角田 浩

「発酵道 酒造の微生物が教えてくれた人間の生き方 寺田啓佐著」を読んでみた。寺田啓佐さんは、千葉県香取郡の造り酒屋、寺田本家の23代目当主である。電化製品業界で働いていたが、昭和49年に跡取りとして寺田本家に婿入りしている。寺田さんは経営改善のため、電化製品を売るのと同じように原価管理をきちんとし商品在庫なしに売りつくすことを目指し、戦時中に始まったアルコール、ブドウ糖、水飴、コハク酸、グルタミン酸ソーダを加えてコスト削減し、酒を量産していた。しかし、ちょうど婿入りの頃、日本酒離れの時代となり、会社は傾き、「あの人のせい、このひとのせい」と悪い原因を自らの外に求めた結果、長く働いていた番頭さんはじめたくさんの職人が次々と辞めていくことになった。そうこうしているうちに会社が傾くだけでなく、体調を崩し、直腸が「腐り」、手術をすることとなった。

この方の偉いところは、このどん底から微生物を見習って自分の生き方、酒の作り方を変えたことであろう。酒造りに微生物は次のように働こう。酒母造りの段階で硝酸還元菌が出てきて、亜硝酸を作り、次に来る乳酸菌が働きやすい場を作ってくれる。そし

て乳酸菌が出てきたら、ひとりでに乳酸を作っていく。この乳酸の登場で雑菌や亜硝酸還元菌、乳酸菌は死滅する。そのあとに出てくるのが酵母菌で、これがアルコールを造り出してお酒にしていけるのだそうである。それぞれの微生物が自分の出番になったら大いに働き、使命をまっとうして、役目を終えたら消えていく。次にくる微生物に「鮮やかにパトタッチ」するのだそうである。

寺田啓佐さんは、この微生物に感動し、見習い、消毒や添加物を排し、昔ながらの酒を造りはじめた。生き方も「競争より共生」をモットーに変えた結果、寺田本家の経営も自身の健康も改善したのだそうである。

医療介護の機関は、大きさもさまざま、機能もさまざまである。そして時は連携の時代である。

「いろんな微生物が酒造りに参加することによって命の宿った酒になる」これが寺田さんの悟りである。「競争より共生」の精神で、当院のある富谷黒川地区、さらには仙台市、大崎市、周辺の市町村のすべての医療介護機関とともに「命の宿った」医療サービスを提供していきたいと思うのである。今年もよろしく願っています。

着任のご挨拶



内科医 **ますもと あい**
増本 愛

この度、公立黒川病院内科に着任いたしました増本と申します。昨年度の子供の進学を機に仙台市泉区に引っ越して参りました。現在は6歳、5歳、0歳6ヶ月の3人の子育てをしており、時短勤務という形で勤務となりますが、限られた時間の中でも、これまで培ってきた知識と経験を最大限に活かし、患者様一人ひとりに誠実に向き合っていきたいと思っております。

私はこれまで消化器内科を専門として研鑽を積んできましたが、消化器疾患にとどまらず、総合内科として幅広い内科疾患に対応すべく、患者様の訴えに耳を傾け、身体面だけでなく心理面も含めて評価した上で適切な診療を提供できればと考えております。スタッフの皆様と積極的に連携しながら、患者様にとって最善のケアを目指すことができたいと思っております。至らない点も多々あるかと存じますが、ご指導ご鞭撻の程どうぞよろしくお願い致します。

私事ではございますが、両親も前期高齢者となり、また子育てを通じて、患者様やご家族が日常生活の中で抱える不安や悩みに対し、以前よりも共感を持って接することができるようになったと感じています。診察室では医学的なことはもちろん、生活面での不安などについてもお話し頂けるような医師でありたいと思っております。

まだ着任したばかりで皆様にご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、一日も早く職場に貢献できるように努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。



内科医 **さいとう もえ**
齋藤 萌子

令和8年4月より公立黒川病院内科で勤務しております、齋藤萌子と申します。仙台市泉区出身で、2019年に自治医科大学を卒業しました。今年度で医師8年目となります。昨年までは大崎市民病院鹿島台分院に勤務し、内科全般、施設での診療、訪問診療などに携わってきました。

幼少期は家から歩いて数分の県民の森を、毎日のように犬を連れて散歩していました。このように、高校卒業まで隣接する場所で育ち、黒川地域を訪れる機会も多かったため、この地域には親しみを感じています。

現在は一般内科を中心に診療し、週に一度、仙台医療センター脳神経内科で研修しております。疾患の種類に関わらず様々な患者さんを診療し、病気だけでなく生活背景を含めたその患者さん全体を診られるよう努めて参ります。そして、住み慣れた地域で医療が完結できるよう、総合的な診療を目指していきたいと思っております。その一方、隣接する仙台市には専門性の高い高次医療期間が充実しているため、必要に応じて適切な紹介を行い、連携をとっていききたいと考えております。

以上簡単ではありますが着任のあいさつとさせていただきます。この地域のことをよく知り、溶け込んでいきたいので、気軽にお声がけいただければ幸いです。近隣の医療機関、施設の関係者の皆様には、今後様々な場面でお世話になると思います。至らない点も多いと存じますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



副病院長 **たぐち かつゆき**
田口 勝行

●**専門分野**
泌尿器科一般、尿路結石、前立腺肥大症、前立腺がん、尿路悪性腫瘍

●**専門資格等**
日本泌尿器科学会専門医

●**一言**
黒川地域唯一の泌尿器科として十分な医療を提供します。



副病院長 **はが いずみ**
芳賀 泉

●**専門分野**
一般外科、消化器外科

●**専門資格等**
外科専門医、マンモグラフィ読影認定医

●**一言**
一般外科および消化器外科を担当しています。地域の皆様に安心安全の医療を提供できますように努めてまいります。

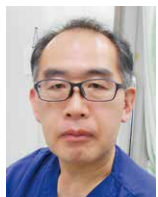


副病院長 **たなか まさひこ**
田中 正彦

●**専門分野**
整形外科（股関節）

●**専門資格等**
日本認定医機構整形外科専門医

●**一言**
下肢関節の痛み、特に股関節の痛みで困っている患者さんがいましたらご相談ください。



健診室 室長 **まつお ひでのり**
松尾 英史

●**専門分野**
内科一般、物忘れ・認知症

●**専門資格等**
認知症サポート医

●**一言**
健診、認知症サポート、内科医として活動しています。もの忘れに心配の方、ご相談ください。

つないで渡す、地域の未来 ～「黒川連携の会」16年の歩み～

会長挨拶：継続こそが地域の力

「黒川連携の会」は、平成22年3月の開始から令和8年4月で17年目を迎えました。当初、顔の見える関係づくりから始まった本会も、今や100名近い多職種が地域医療・介護の未来を本音で語り合う場へと成長しました。この積み重ねこそが、私たちの掲げる「地域を守る」という使命の強固な土台となっています。

黒川連携の会のあゆみ

年 度	主な出来事
2010年（H22）	黒川連携の会発足。地域連携の第一歩。
2013年（H25）	職種間の情報共有強化と顔の見える関係づくりを推進するため、シンポジウムを開催。
2013年（H25）	参加職種が大幅に拡大。医療・介護・行政の網の目が広がる。「ワールドカフェ」導入。
2025年（R7）	対話を通じ、より確実な連携へ。

昨年度（令和7年度）活動レポート

一本音で語り、心でつながる「ワールドカフェ」

昨年度は、施設（介護老人保健施設・特別養護老人ホーム）の各現場が抱える課題を共有し、立場を超えて解決策を探る「ワールドカフェ」を全2回開催しました。

第1回（9月）：テーマ「人材不足のホンネと現場のリアル」

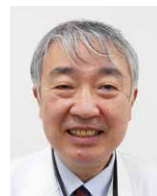
4つの介護老人保健施設から、それぞれの施設の状況などについて説明をしていただきました。その後、人材不足とそれをカバーするための取り組みについて活発な意見交換がなされました。



第1回ワールドカフェの様子

常勤医師紹介

それぞれの専門分野を併せてご紹介いたします。

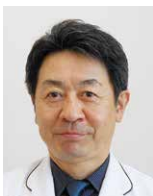


管理者 **かくた ひろし**
角田 浩

●**専門分野**
内科

●**専門資格等**
日本プライマリ・ケア連合学会指導医、日本睡眠学会睡眠医療認定医師、日本病院総合診療医学会認定医、精神保健指定期定医、ボトックス施注資格（痙縮、斜頸、多汗症）、義肢装具等適合判定医師、日本リハビリテーション医学会認定臨床医

●**一言**
日本睡眠時無呼吸症候群（SAS）、回復期リハビリ病棟についてのご相談、消化管内視鏡検査を担当しております。



院長 **たかはし ひろき**
高橋 広喜

●**専門分野**
総合診療科 消化器内科

●**専門資格等**
日本病院総合診療医学会理事・評議員・指導医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、日本専門医機構総合診療専門研修特任指導医、日本消化器病学会専門医・東北支部評議員 日本消化器内視鏡学会専門医、日本外科学会認定登録医、日本医師会認定健康スポーツ医、ICD制度協議会ICD、臨床研修指導医

●**一言**
患者さんにわかりやすい説明と的確な医療が提供できるように心がけています。



外科医 **まつもと しょうこ**
松本 翔子

●**専門分野**
一般外科

●**一言**
地域医療に貢献できるように頑張ります。宜しくお願致します。



内科医 **あらか きつき**
荒木 沙月

●**専門分野**
内科、総合診療

●**専門資格等**
内科専門医、認知症サポート医

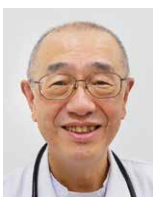
●**一言**
入院、外来、訪問診療を担当します。よろしくお願申し上げます。



副管理者 **なん か しゅんすけ**
南家 俊介

●**専門分野**
内科、循環器科

●**一言**
主に循環器疾患についての診療を行います。心エコー、ホルター心電図解析、冠動脈CTなどを担当します。



地域医療センター長 **よねむら ひろお**
横道 弘直

●**専門分野**
内科、血液・免疫、総合診療、在宅医療

●**専門資格等**
日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医

●**一言**
入院/外来診療、訪問診療を担当します。



内科医 **ふくすみ みさき**
福住 美早樹

●**専門分野**
総合診療科

●**専門資格等**
日本プライマリ・ケア連合学会会員

●**一言**
入院診療、外来診療、訪問診療を担当します。引き続き、今年度もどうぞよろしくお願い致します。



内科医 **よしむら みさき**
吉村 瑞希

●**専門分野**
総合診療、家庭医学

●**一言**
入院・外来・訪問診療を担当します。地域の皆様のお役に立てるよう努めてまいります。